

教育課の実施事業について

① 令和3年度から学校教育現場での情報教育が本格始動となります

令和2年度末までに町内各小・中学校における高速大容量のネットワーク環境（校内LAN）整備、タブレット端末の児童生徒一人1台の環境整備を実施いたします。今は新しい学校教育の在り方を考え、転換させる大きなチャンスで、令和3年度からは、情報通信技術を活用したICT教育が本格始動となり、町内5校と連携しながら、新たな指導方法の工夫改善に向けて積極的に取り組んで参ります。

② 旧石井家住宅（北原白秋生家）保存整備について

日本の詩人、童謡作家、歌人でもある**北原白秋**は、1885年（明治18年）1月25日、母の実家である関外目木屋塚の石井家で生まれました。白秋は幼少期に頻繁に南関を訪れ、石井家の方々や南関の自然に触れたことが、白秋の詩作に大きな影響を与えたともいわれております。

この旧石井家住宅は白秋が生まれた住宅であるとともに、江戸時代後期の住宅らしい構造形式をもつ住宅であるため、平成31年3月29日に**国の登録有形文化財（建造物）に登録**されました。この住宅は歴史的資産・観光的資産を両立しており、町民のふるさとを愛する気持ちを育む拠り所として、まちづくりのひとつとなるよう保存整備に取り組みます。整備費用については、ふるさとなにかん応援寄付金を充てます。

現在、保存活用検討委員会で整備の協議を行っており、令和3年度に調査設計、令和4年度から整備工事を行い、令和6年度に公開予定としております。

